

5つのプライドが奥田工業所の個性です。

O-Belief (企業意志)

社員一人ひとりが、信念と誇りを持って仕事に立ち向かうことでOKUDAは結束します。そして、どこにも誰にも負けない探究心と情熱のすべてを現場で表現します。

O-Value (企業価値)

「あなたの会社を選んでよかった…」と最後にお客さまの声を頂いてこそ初めてOKUDAの企業価値(他社にはない存在性と役割)が実証される瞬間だと信じます。常にお客さまの目線を忘れずに、この企業価値を追求します。

O-Quality (企業品質)

卓越した技術力や秀でた管理能力を品質と呼ぶなら、同時にこれが「お客さまの喜びと満足」を満たすものでなければなりません。OKUDAは徹底して品質にこだわります。

O-Trust (企業信頼)

企業の信頼は社員一人ひとりの信頼が基礎となるのは言うまでもありません。その指針としてOKUDAは一人ひとりがアスリートの精神力と集中力で仕事に挑みます。勝利と達成感がわたしたちのゴールだからです。

O-Mission (企業使命)

「何かが起きてしまったからでは遅すぎる」。各地でビルやマンションにおいて取り返しのつかない事故や問題が続出しています。いつまでも私たちの社会が元気であり続けるために、OKUDAの使命は地域のお客さまの快適と資産保全のために尽力することです。

奥田工業所は、5つの
熱いプライドを持つ
スペシャリスト集団です。

代表取締役

奥田 裕嗣



元気を会社の「旗」に。

仕事は私たちの生活のための糧としてあるのは言うまでもありません。しかし、仕事の持つもう一つの大きな意味は、人間としての人格を社会に受け入れてもらうためのパスポートのようなもの。人間は一人で生きていくことはできません。そして、人間は一人で元気を出すこともできません。友達がいるから、恋人がいるから、家族があるから、待ってくれてる人々がいるから「元気を出そう」と考える生き物です。私たちOKUDAは、仕事を通して元気を創り出すことをモットーに集まった若い職人たちの集団です。熱い未来と情熱をあらわす赤い円の中に、「ヤルゾー」と叫ぶスタッフみんなの声を握りこぶしの形に顕わしました。

防水工事の職人集団
OKUDA
CONSTRUCTION

株式会社 奥田工業所
〒570-0012
大阪府守口市大久保町4丁目13-11
電話 : 06-6901-1155
FAX : 06-6902-8699

奥田工業所 検索

<http://www.okuda-kougyouso.co.jp/>

あらんかぎりのチカラで



防水工事の職人集団
OKUDA
CONSTRUCTION

大阪の屋根は
OKUDAが守る。



スポーツするように、仕事をする。

強靱な精神力と身体で、どこまでも自分に厳しく。ゴールを目指すアスリートの気持ちで仕事に向かいます。私たち奥田工業所の社員の身体には、強きスポーツマンシップの血が流れています。今日の仕事は昨日の仕事を超えるために、明日の仕事は将来のナンバー1を目指すためにです。どこまでもフェアに、エキサイティングに、あきらめず前を向いて進む。「スポーツするように仕事をする」。ゴールすればきっと熱い拍手が湧き上がるにちがいないから。自分たちOKUDAにしかできない仕事を、誇りを持ってやり遂げます。

【会社概要】

社名	■ 株式会社奥田工業所
創業	■ 昭和52年5月11日
会社設立	■ 平成11年11月1日
所在地	■ 〒570-0012 大阪府守口市大久保町4丁目13-11
電話	■ 06-6901-1155
FAX	■ 06-6902-8699
URL	■ www.okuda-kougousyo.co.jp/
E-mail	■ info@okuda-kougousyo.co.jp
代表者	■ 代表取締役 奥田裕嗣
資本金	■ 1,000万円
建設業許可	■ 大阪府知事(般-26)第113251号
営業種目	■ 屋上・バルコニー・外壁の改修工事 雨漏り補修工事 新築・改修の各種防水工事 ・FRP防水工事 ・ウレタン塗膜防水 ・シート防水工事 ・アスファルト防水工事 ・各種防水工事 ・止水工事 塗装工事
営業地域	■ 大阪府、および大阪府周辺。
保有資格	■ 二級建築施工管理技士 一級防水技能士

【会社沿革】

昭和52年5月/奥田工業所設立
昭和59年7月/守口市大久保町4-20-4へ移転
平成11年11月/有限会社奥田工業所とする
資本金500万円
平成16年11月/株式会社奥田工業所とする
資本金1000万円
平成18年9月/現住所に自社社屋を建て移転
平成19年8月/防水工事に加え建築工事・塗装工事の知事許可取得



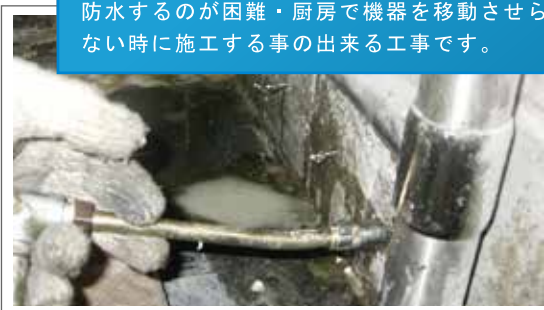
タイル剥落防水工事

外壁タイルは、接着強度が弱まってくると落下の危険があります。このようなタイル落下による人身事故や器物破損が起こった場合、その建物のオーナーに損害賠償が及ぶケースがほとんどです。タイル剥落防水工事は外観をほぼ変える事無く、タイルの上よりクリアーの防水材を塗布しアンカーを取付ける事により、タイルの剥落防水と防水効果をもたらす工事です。また、外観は変わってしまいますが、ピンネットを用い剥落防水をし塗装で仕上げる工法もあります。



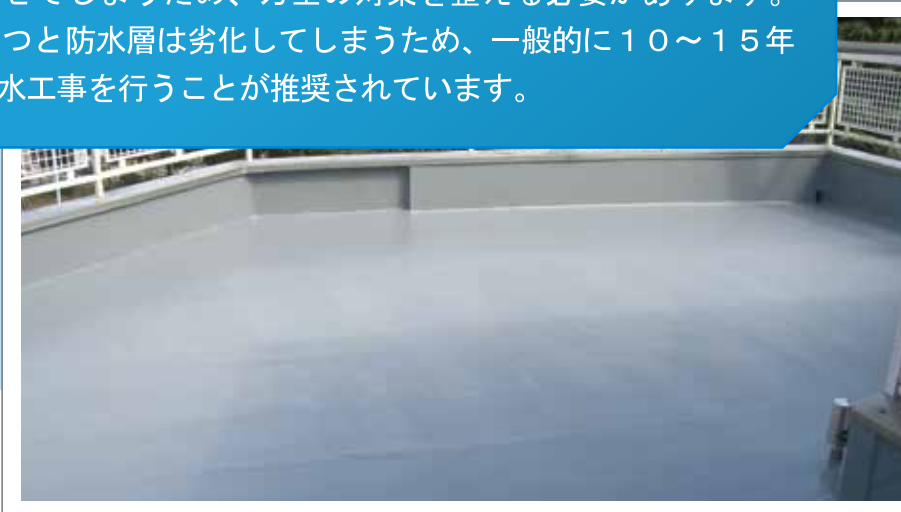
止水工事

建物の地下室やエレベータービットに雨水・湧水が侵入する事で、湿気が出てきたりエレベーターの部品を交換しなくてはいけなくなります。部分的に穿孔し薬液を注入する事で雨水・湧水の侵入を防ぎます。また、この技術を利用して、お風呂や厨房の漏水で、お風呂を解体し防水するのが困難・厨房で機器を移動させられない時に施工する事の出来る工事です。



防水工事

屋上やバルコニーなどに防水工事を行い、建物を漏水から守る工事です。雨漏りは不快だけでなく、建物の寿命・資産価値を著しく低下させてしまうため、万全の対策を整える必要があります。年月が経つと防水層は劣化してしまうため、一般的に10～15年ごとに防水工事を行うことが推奨されています。



外壁改修工事

経年劣化によりひび割れや欠損が発生し、ここに雨水が侵入すると雨漏りの原因になり、建物の構造自体に劣化を促進させるような影響を及ぼします。このようなひび割れや欠損を補修し建物を守る工事です。



外壁塗装工事

外壁は砂埃にさらされ、酸性雨や紫外線を浴び続けていて、毎日かなりの負担を強いられています。この酸性雨や紫外線から建物を守っているのが、外壁塗装です。塗装の剥れは勿論ですが、チョーキングと呼ばれる塗装表面を触ると白い粉が手に付着する事があります。このような状態になると一つの塗替え時期の目安です。塗装材は近年色々出てきていますが、建物外壁を守り・外観を美しくするのが、塗装工事です。



屋根遮熱塗装

工場や倉庫などの金属屋根・スレート屋根や住宅の瓦棒に、遮熱・消音・防食効果を持たせることのできる「遮熱塗装」を施します。遮熱にすることで外部からの熱の影響を受けにくくできるため、真夏・真冬も室内温度を快適に保つ事ができ長寿命化を計る事ができます。どのような形状の屋根にも対応でき、施工中は工場内も通常通り稼働できます。

